

令和2年8月19日

## 新型コロナウイルス感染症への対応について

奈良先端科学技術大学院大学

### 【感染予防対策】

- 感染拡大を防止するために、「密閉空間」「密集場所」「密接場面」の3つの「密」を避けるとともに、「人と人との距離の確保」「マスクの着用」「手洗いなどの手指衛生」などの基本的な感染対策を行うこと
- 各領域棟及び事務局棟などにおいて、入構時にサーモグラフによる検温を行うこと
- 屋内の場合は、窓を開け、頻繁に換気を行うこと
- 飲食時は、同伴者と互いに2メートル以上離れ、向き合わないよう斜めに座ること
- 通常の感染症予防（流水と石けんによる手洗いか、アルコールによる手指消毒・マスク等の咳エチケット）を徹底すること
- 発熱がなく、咳のみの時には、常時マスクを着用すること
- 建物に入る時は、手洗いや手指消毒剤による手指衛生を行ってから入室すること
- 不要不急の外出は控えるようにすること
- 外出の場合も人ごみをできるだけ避けるようにすること
- 大人数での会食や飲み会を避けること
- 会食等で飲食店等を利用する場合には、自己適合宣言マーク等の表示に留意すること
- 大声を出す行動（飲食店等で大声で話す、カラオケやイベント、スポーツ観戦等で大声を出すなど）を自粛すること
- 新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）のダウンロードや地方自治体独自の通知システムの利用登録を行うこと

厚生労働省ホームページ：

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html#kokumin](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html#kokumin)

### 【健康管理】

- 発熱などのかぜ症状が3日以内の場合は、出勤しないでください。  
解熱薬を服用していない状態で、解熱日及び症状消失日を含め、3日経過した翌日より出勤可能とします。

○発熱などのかぜの症状が4日以上ある場合は、郡山保健所に開設している「帰国者・接触者相談センター（以下「センター」）」に連絡し、PCR検査を受検してください。

なお、PCR検査を「未実施」又はPCR検査の結果が「陰性」の場合は、解熱日及び症状消失日を含め、3日経過した翌日より出勤可能とします。

○本人又は同居人が濃厚接触者として保健所又は医療機関から検査等の協力要請があった場合は、保健所又は医療機関の指示に従い、指示のあった期間自宅待機してください。

○PCR検査の結果、新型コロナウイルスに感染していることが確認された場合は、下記へ連絡してください。

危機対策本部 TEL：0743-72-5024 E-mail：somu[at]ad.naist.jp

保健管理センター TEL：0743-72-5108 E-mail：hcc[at]hcc.naist.jp

本人又は同居家族に発熱、症状がみられる場合の対応フロー：

[https://ad-info.naist.jp/k-soumu/somu/coronav\\_flow\\_J0722.pdf](https://ad-info.naist.jp/k-soumu/somu/coronav_flow_J0722.pdf)

奈良県ホームページ：<http://www.pref.nara.jp/54373.htm>

#### 【海外渡航】

○海外への渡航について、感染症危険レベル3及び2の地域への渡航（私事渡航を含む）は、禁止とします。

外務省海外安全ホームページ：<https://www.anzen.mofa.go.jp/>

○海外からの帰国については、国籍を問わず全ての入国者に対し、検疫所長の指定する場所で14日間待機し、国内において公共交通機関を使用しないよう要請されておりますので、その指示に従ってください。

○感染症危険レベル3及び2の地域から本学への来訪者の受入れについては、当面、禁止します。

○海外からの学生<sup>(注)</sup>の新規受入れは、2020年10月1日以降で調整します。

(注) 特別研究学生及び特別学修生として、2020年5月以降に入学許可を得ようとする者

#### 【国内出張・旅行など】

○東京圏や大阪などの大都市での感染例が増えているため、大都市への国内出張や旅行は、特に注意してください。

また、感染拡大の防止の観点から、「人と人の距離の確保」「マスクの着用」「手洗いなどの手指衛生」をはじめとした基本的な感染対策を継続的に行ってください。

なお、発熱等の症状がある者は、国内出張などは控えてください。

#### 【学生の授業、実験等】

○秋学期から、原則、対面による授業を行います。講義室の収容人数の半数程度を定員とし、定員を超えた場合は、別教室において、アカデミックチャンネルにより授業を受講してもらいます。

○学生の実験・実習・演習等の実施については、各領域の指示に従ってください。

#### 【教員及び学生等の研究活動】

○研究活動を行うことはできますが、「三つの密」を徹底的に避けるとともに、「人と人の距離の確保」「マスクの着用」「手洗いなどの手指衛生」をはじめとした基本的な感染対策を継続的に行ってください。

#### 【学内会議】

○オンラインでの会議開催やオンライン参加を推奨しますが、対面会議で開催する場合は、「三つの密」を徹底的に避けるとともに、「人と人の距離の確保」「マスクの着用」「手洗いなどの手指衛生」などの基本的な感染対策を行ってください。

#### 【教職員の就業等】

○教職員が、発熱し休んだ場合は、特別休暇とし、新型コロナウイルスに感染又は感染の恐れがあり、センターの指示に基づき、就業できない場合は、就業禁止とします。

○新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、電車・バスの公共交通機関の混雑する時間帯の回避の観点から、時差出勤することができます。

教育研究上又は業務遂行上支障がない範囲内で、在宅勤務を行うことができます。